






婦人科放射線治療を受けられる（

）さま 蓄尿なし

日付	月 日（ ）～ 月 日（ ）	月 日（ ）～ 月 日（ ）	月 日（ ）～ 月 日（ ）	月 日（ ）～ 月 日（ ）	月 日（ ）～ 月 日（ ）
	入院日～治療前日	治療開始1週目～2週目	3週目～5週目	6週目～7週目	治療終了後退院日
目標	入院生活や治療について、医療スタッフの説明が理解できる	吐き気や嘔吐がない 性器出血がない 皮膚の手入れが看護師と一緒にできる 日常生活の注意点を知っている	性器出血がない 下痢がない スキントラブルがない 日常生活の注意点を知っている	性器出血がない 下痢がない スキントラブルがない 退院後の日常生活の注意点について理解できる	下痢がない スキントラブルがない 退院後の日常生活の注意点について理解できる
治療の準備	特殊なマジックで体に印（マーキング）をつけます マーキングを消さないよう注意しましょう 消えそうときは、医療スタッフにお知らせください	放射線治療室から連絡があれば、H受付に行きましょう マーキングを消さないよう注意しましょう 消えそうときは、医療スタッフにお知らせください	<p>毎日の放射線治療時間は、病棟看護師よりお伝えします</p> <ul style="list-style-type: none"> 子宮内照射（ラルス）を行う場合があります 前日までに看護師がスケジュールについて説明します 前日と当日は処置があります 治療室への移動は、看護師と一緒に車いすで行きます 詳細は「婦人科の放射線治療を受けられる方へ」のパンフレットをご覧ください 		
治療		原則、治療は月曜日から金曜日の週5回行います 1回の治療時間は、着替えを含めて約20分程度です			
診察		火曜日・金曜日は、治療終了後に放射線治療医師の診察があります 週1回程度、婦人科医師と放射線治療医師と一緒に内診をします 内診の予定は前日にお知らせします 気がかりなことは医師に伝えましょう			
排便 排尿	治療期間中、便秘・下痢に注意しましょう 必要に応じて、薬剤を使ってコントロールしましょう 治療開始2週目頃から下痢になることがあります 1日5回以上水様便が出る場合や粘膜が剥がれてしまった場合は、医療スタッフにお知らせください		<p>下痢中は、薬の調整以外にも、食事の工夫や心身の安静が大切です お気軽に看護師にお知らせください</p>		
検査	必要に応じて血液検査、尿検査等を行います				
検温 血圧測定	入院時に測定します	1日1回（10時）に測定します	<p>ご自身で、1日の尿回数・便回数、便の性状の記録と体温測定を行い、検温シートに記録しましょう 医療スタッフが確認に伺います</p>		
食事	入院中は牛乳を飲まないようにしましょう（治療終了1か月後まで） 水分は下痢中であっても、こまめにしっかり取りましょう 基礎疾患（糖尿病・高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります *食物アレルギーのある方は、医療スタッフにお知らせください				
活動	自由に院内を歩行できます 体調に合わせて散歩して体力維持に努めましょう				
清潔	シャワー浴ができます （病棟入浴日に準じてお入りください） 体を洗うときは、マーキング部位を強くこすらないようにしましょう 皮膚の乾燥が強い場合は、医療スタッフにお知らせください				
その他	入院診療計画書、入院オリエンテーション、治療スケジュールについて看護師より説明します	<p>治療や退院後の生活に関する詳細は、外来で配布された「婦人科の放射線治療を受けられる方へ」のパンフレットをご覧ください</p>		退院が決定したら、退院後の日常生活について、看護師より説明します	